

2004年 8月 19日

各 位

杏 林 製 薬 株 式 会 社
東京都千代田区神田駿河台2-5
(証券コード 4560 東証一部)

感染症領域における米国メルク社との共同研究の継続及び 独占的ライセンスに関する契約締結について

杏林製薬株式会社(東京都 社長;荻原郁夫)は、米国メルク社(New Jersey州 最高経営責任者:R.V. Gilmartin)と感染症領域において予てより共同研究を進めてまいりましたが、有望開発化合物候補の特定の可能性が高まったことから、この度、共同研究の継続契約及び今後の特定化合物の開発に備え独占的ライセンス契約を締結いたしました。

本共同研究は、1998年より当社とメルク社の間で開始されたもので、呼吸器感染症に重点を置き、市中肺炎及び重症院内感染症をターゲット疾患とした合成抗菌剤の開発を目的としたものです。今回の契約では、共同研究期間を3年間とし、また本共同研究から生まれた化合物についての将来の開発及びライセンスについて取り決めていきます。

本共同研究では、その運営・統括を行う共同運営委員会を設置し、候補化合物の評価及び選定を実施することにより、早期に開発化合物の特定とその後の新薬開発を目指します。

本ライセンス契約により、当社は日本を除く全世界におけるライセンスをメルク社に供与し、その対価として、メルク社はマイルストーン及び売上に応じたロイヤリティを当社に支払います。

日本におきましては、当社がメルク社よりライセンスを受け、メルク社の100%子会社である万有製薬と共同開発を行い、上市後には同社とコ・プロモーションを実施する予定です。

感染症領域は、当社の重点研究領域のひとつであり、米国メルク社との感染症領域における本共同研究を通じて当社の創薬研究力のさらなる強化と研究の一層のスピードアップが図られるものと期待をしております。

以 上

この件に関するお問い合わせ 杏林製薬株式会社 経営企画部 TEL:03-3293-3414 FAX:03-3293-3454
